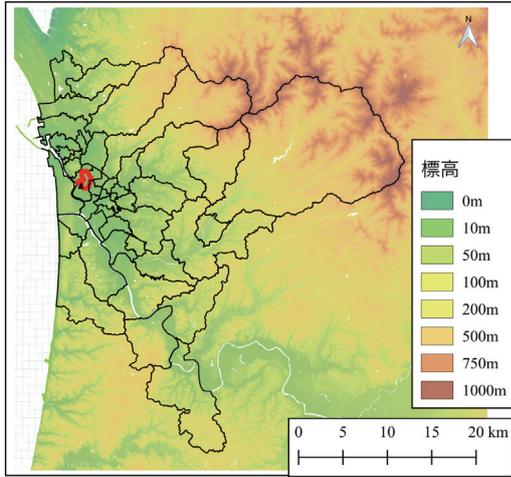


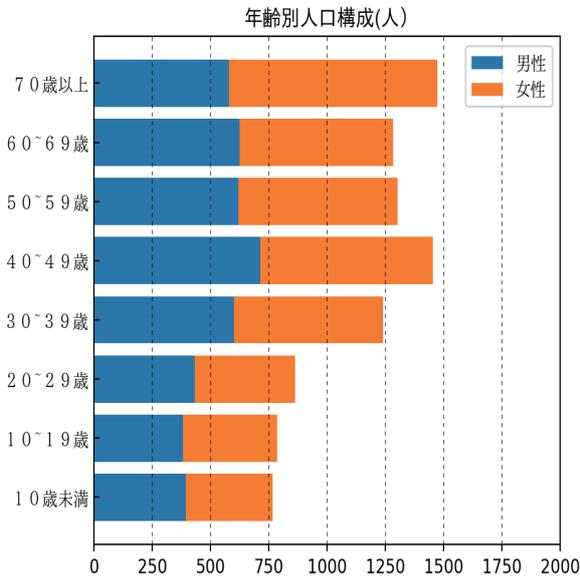
# 17：八橋小学校区

## 位置図



## 1 居住者の現況

人口	9,163 人
世帯数	4,526 世帯
65 歳以上人口	2,162 人
10 歳未満人口	765 人



平成 28 年 10 月 1 日現在

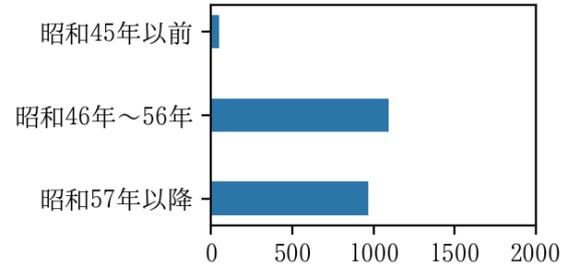
## 2 建物に関する指標

### ■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	2115
非木造建物	519

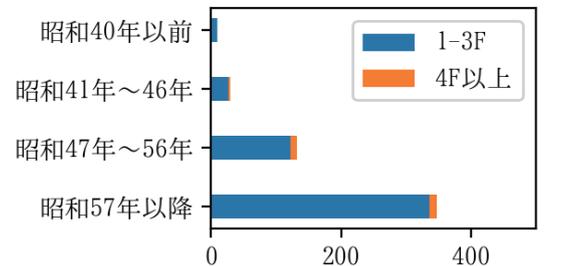
### ■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	968
昭和46年～56年	1,096
昭和45年以前	51



### ■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	337	11
昭和47年～56年	122	10
昭和41年～46年	27	2
昭和40年以前	10	0



平成 22 年 8 月現在

## 自然的・社会的基本指標

秋田市街地の西部に位置し、全体に平坦な地形となっている。沖積層が広く分布する。学校区南部には八橋運動公園があり、緑地となっている。学校区を中心から北部にかけ、住宅地商業地が集積している。1983年日本海中部地震では、地盤の液化が発生した。人口構成として、30歳台～50歳台の占める割合が多く、65歳以上の高齢者層は24%程度となっている。非木造建築物が比較的多い。昭和57年以降の建築物が全体の50%を占める。

### 3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 洪水

指定河川	雄物川		
浸水面積 (%)	25.2		
最大浸水深 (m)	ランク 4		

#### ■ 土砂災害

##### \* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	0	該当箇所なし
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	0	該当箇所なし

##### \* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	1	八橋
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

#### ■ 地震および津波

##### \* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度 (計測震度)	震度 6 強 (6.04)	
震度 6 強以上となる面積 (%)	78	
液状化危険度ランク	3	
建物全壊率 (%)	9.8	

##### \* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が運動した場合)

浸水面積 (%)	16.9	
最大浸水深 (m)	4	

### 4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	6
婦人幼児支援	1
障がい者等支援	2

#### ■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	2
こども園	0
幼稚園	0

#### ■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	3

#### ■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	0
高等学校	0
大学・短大・高専	0
養護学校等	0

### 5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	71
防火水槽 (箇所)	3
消防車台数 (台)	11
消防ポンプ数 (台)	2
消防団員数 (人)	54

#### ■ 避難所/避難場所 (別紙参照)

災害種別	施設数
洪水	8
土砂災害	10
地震	10
津波	4
福祉避難所	3
津波避難ビル	3
津波警報サイレン	0

#### ■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	秋田消防署
管轄警察署	秋田中央警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	8
最寄りの救急告示病院	市立秋田総合病院
自主防災組織数	10

### 自然災害時の危険要素

雄物川の氾濫により学校区の南部および草生津川左岸域を中心に約 25%の区域が浸水すると想定されている。

平坦な地形となっていることから土砂災害の危険性は低い(急傾斜に関わる警戒区域 1 箇所を除く)。

地震動では、市立体育館周辺の微高地及び運動公園付近では、その他の地区と比較してやや揺れにくくなっている。地震による液状化の発生危険度はやや高い。草生津川の左岸域を中心に津波により 3m 未満程度(住宅 1F)の浸水の危険性があると想定されている。

### 防災上の課題と対策

1983 年日本海中部地震では、学校区内で液状化が発生した。今後も大地震時には液状化が発生するおそれがあり、注意が必要である。

本学校区は秋田市の中心に近く、建物の密集度が高く、かつ人口も稠密である。木造建物のほぼ半数が旧耐震建築物であることから、災害時の建物倒壊が想定され、さらに火災延焼による被害拡大も懸念される。ただし、学校区の南部が八橋運動公園となっていることから、ある程度の延焼抑止効果が期待できる。八橋運動公園は広域避難所としての機能を期待されていることから、周辺交通の確保が災害時の重要な課題となる。

人口構成は、30～50 歳代の比較的若い年代の比率が高く

なっており、その災害対応力に期待できる。町内会等の近隣住民との日常的な交流をもとに、防災訓練等を活用して住民相互の協力関係を構築していくことが災害時の対応に役立つものと期待される。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
八橋墓地公園	x	x	○	○	x	x	300人
八橋小学校（校舎2階〔普通教室、学習室、多目的ホールおよび廊下〕、3階〔普通教室、多目的ホールおよび廊下〕）	x	x	x	x	○	x	2,558人
八橋小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	309人
八橋小学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	5,215人
秋田市立体育館（2階サブアリーナ固定観覧席、メインアリーナ固定観覧席および2階上部ジョギングコースほか）	x	x	x	x	○	x	5,000人
市立体育館第2駐車場	x	x	○	○	x	x	575人
八橋運動公園	x	○	○	○	○	○	津波 117,000人 津波以外 58,500人
八橋陸上競技場	x	○	○	○	x	x	14,725人
八橋球技場	x	○	○	○	x	x	8,130人
八橋硬式野球場	x	○	○	○	x	x	8,815人
八橋第2球技場・健康広場	x	○	○	○	x	x	4,970人
八橋地区コミュニティセンター（2階和室、会議室および談話コーナー）	x	x	x	x	○	x	160人
八橋地区コミュニティセンター（多目的ホール）	○	○	○	○	x	x	122人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
特別養護老人ホーム八橋	八橋イサノ一丁目2番4号	018-896-0377
秋田市八橋老人デイサービスセンター	八橋南一丁目8-2	018-866-1343
秋田市老人福祉センター	八橋南一丁目8-2	018-862-7445

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
秋田市立体育館	八橋本町六丁目12番20号	・2階サブアリーナ・固定観覧席・メインアリーナ固定観覧席・2階上部ジョギングコースほか	5,000人
八橋地区コミュニティセンター	八橋本町五丁目2番27号	・2階和室、会議室、談話コーナー	160人
秋田市立八橋小学校	八橋大沼町7番1号	・校舎2階普通教室、学習室、多目的ホール、廊下 ・校舎3階普通教室、多目的ホール、廊下	2,558人

津波警報サイレン

施設	所在地
(該当なし)	

